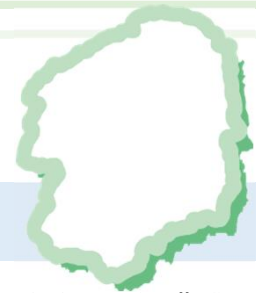


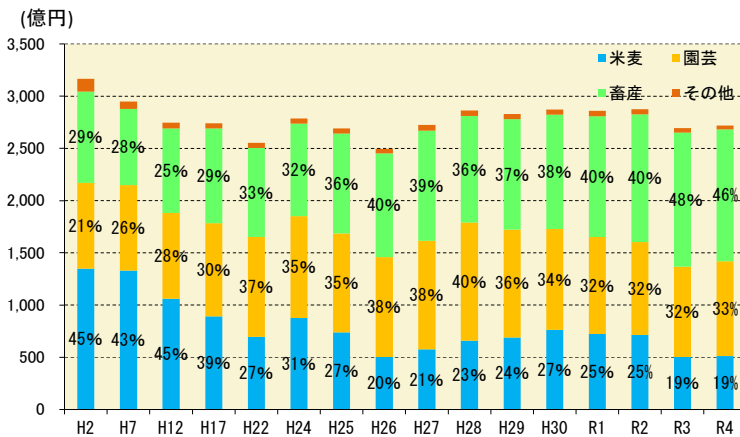
# とちぎの農業のすがた



## 農業生産の動向

- 栃木県は大消費地である首都圏に位置し、平坦で広い農地、豊富な水資源、穏やかな気候など、農業に適した条件に恵まれています。
- これらの条件と農業者の優れた技術によって、日本一のいちごをはじめ、米、生乳、にらなど、全国に誇れる多彩な農産物が生産されています。
- 栃木県の令和4年の農業産出額は、2,718億円、全国順位は昨年と同じ9位となっています。

【農業産出額】



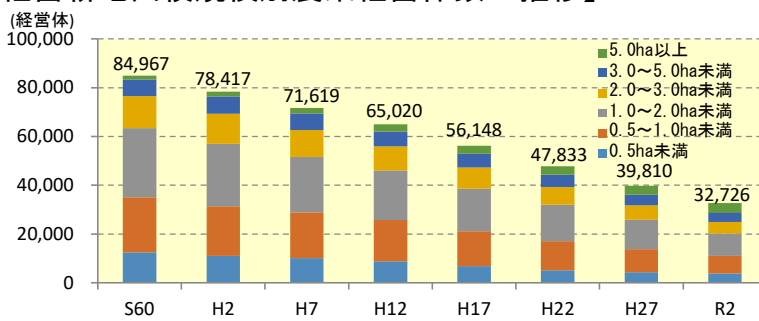
【とちぎの農産物産出額ベスト10】

順位	品目	産出額(億円)	構成比(%)	全国順位
1	米	458	16.9	10
2	生乳	418	15.4	2
3	豚	287	10.6	8
4	いちご	277	10.2	1
5	肉用牛	244	9.0	8
6	鶏卵	244	9.0	5
7	もやし	107	3.9	1
8	トマト	77	2.8	7
9	にら	51	1.9	2
10	日本なし	50	1.8	3

## 担い手の動向

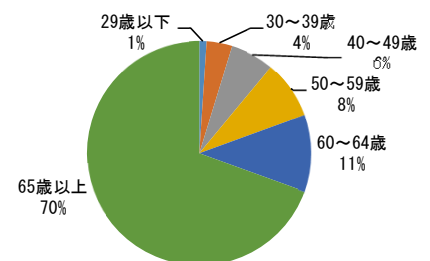
- 農業経営体数は年々減少し、30年前の約4割となっています。基幹的農業従事者のうち約7割を65歳以上が占めています。
- 一方で、経営面積5ha以上の経営体は30年前の約2倍となるなど、経営の大規模化が進んでいます。

【経営耕地面積規模別農業経営体数の推移】

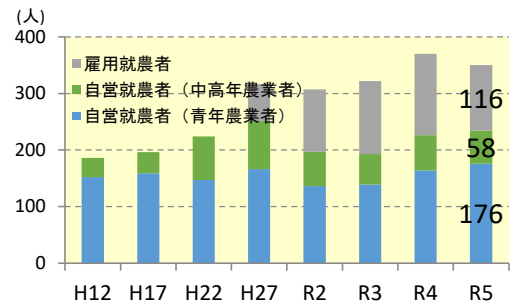


- 令和5年度は、350名の新規就農者を確保しました。
- 平成27年度から10年連続で300名を超えています。

【基幹的農業従事者の年齢別割合】



【新規就農者数】



## 農地の動向

- 耕地面積約12万1千haのうち、田の面積が約78%を占めています。

【耕地面積】

